

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2017年5月号

NO. 285

TOPICS

「次代をリードする「広報・PR」を。」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 殿村美樹
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2017

「3次試験対応講座(夏期)」の受講受付を開始」

ATTENTION P4

「第21回「PRプランナー資格認定検定試験

1次試験受験予約申込は6月1日(木)から！」

ATTENTION P5

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:近見 竹彦

5月号 目次

5月～6月のスケジュール		— 1
MESSAGE(メッセージ)	「次代をリードする「広報・PR」を。」	— 3
ATTENTION((お知らせ)	「広報PRアカデミー2017「3次試験対応講座(夏期)」の受講受付を開始」	— 4
〃	「第21回「PRプランナー資格認定検定試験 1次試験受験予約申込は6月1日から！」	— 5
BULLETIN(活動報告)	「広報PRアカデミー2017「広報・PRスタートアップ講座2017」に70名が参加」	— 6
〃	「PRプランナー資格認定制度 95名の2016年度後期PRプランナー誕生」	— 7
〃	「第45回親睦ゴルフ会開催 桜満開の中、優勝は(株)内外切抜通信社 近藤義昭氏」	— 9
VOICE of PR PLANNER	「PRプランナーに必要なこと？」	— 10
PR TREND(PRトレンド(関西)	「知の実験劇場「ACADEMIC THEATER」ついに開幕！」	— 12
会員情報(会員便り)	「個人正会員B 宮部潤一郎氏からのお知らせ」	— 14
〃	「個人正会員B 山見博康氏が「ニュースリリース大全集」を3月30日に発刊」	— 15
協会掲載記事	「PRSJ in Media 5月」	— 16

5月～6月スケジュール

PRプランナー資格認定検定 2次試験	日時 : 5月14日(日) 9:30～16:00 会場 : 東京富士大学(東京) 毎日インテシオ(大阪) AQUA博多(福岡)
第16回PRプランナー交流会 (PRプランナー部会)	日時 : 5月23日(火) 16:00～21:00 訪問先 : NHKスタジオパーク
第183回定例研究会	日時 : 5月31日(水) 12:00～14:00 会場 : AP秋葉原「Aルーム」 講師 : テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」総合プロデューサー 名倉幸治氏 テーマ : 「『ワールドビジネスサテライト』2017年の番組作り ～WBSがめざすニュース映像の新世界を探る～」
第6回通常総会・懇親パーティ	日時 : 6月1日(木) 17:00～ 会場 : 公益財団法人国際文化会館 東館地下1階
広報PRアカデミー2017 3次試験対応講座	日時 : 6月8日(木)、14日(水)、21日(水)、28日(水) 7月5日(水)、12日(水) いずれも 19:00～21:30 会場 : ベルサール六本木コンファレンスセンター
第184回定例研究会	日時 : 6月23日(金) 12:00～14:00 会場 : AP東京八重洲通り「Bルーム」 講師 : 共同通信社 論説委員 久江雅彦氏 テーマ : 未定

予 告

通常総会開催

日時 : 2017年6月1日(木)
通常総会 17:00～(予定) / 懇親パーティ 18:30～(予定)

会場 : 公益財団法人国際文化会館
通常総会 「岩崎小彌太記念ホール」
懇親パーティ 「樺山・松本ルーム」

5月～6月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(5月度)	日 時	: 5月 9日 (火)	12:00～14:00
	(6月度)		6月 13日 (火)	12:00～14:00(予定)
		会 場	: 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
教育委員会	(5月度)	日 時	: 5月 18日 (木)	12:30～14:00
	(6月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
資格委員会	(5月度)	日 時	: 5月 25日 (木)	12:00～14:00
	(6月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
国際・交流委員会	(5月度)	日 時	: 5月 23日 (水)	12:00～13:30
	(6月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
広報委員会	(5月度)	日 時	: 5月 25日 (木)	16:00～18:00
	(6月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
顕彰委員会	(5月度)	日 時	: 5月 24日 (木)	17:00～19:00
	(6月度)		未定	
		会 場	: 協会会議室	
企業部会幹事会	(5月度)	日 時	: 5月 17日 (水)	17:00～18:00
	(6月度)		6月 7日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: 協会会議室	
PR業部会幹事会	(5月度)	日 時	: 5月 16日 (火)	16:00～18:00
	(6月度)		6月 20日 (火)	16:00～18:00
		会 場	: 協会会議室	
PRプランナー部会 幹事会	(5月度)	日 時	: 5月 9日 (火)	19:00～21:00
	(6月度)		6月 15日 (木)	19:00～21:00
		会 場	: (株)電通パブリックレーションズ 会議室 6月度は会場未定	

次代をリードする「広報・PR」を。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 殿村美樹

昨年6月より理事を拝命しました殿村美樹と申します。関西の理事なので東京の皆様とは活動内容が少し異なると思いますが、関西の活動を盛り上げるために頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

とはいえ、早いものでもう1年が過ぎようとしています。それまでは関西の定例会に出席しても、東京で活発に行われている委員会活動がどのようなものか、ほとんど理解できていませんでした。そんな中、名前だけは資格委員会に所属していましたので、10年前から教鞭をとっている関西大学で学生たちにPRプランナー受験を勧めることで、辛うじて委員の仕事を果たしたような気がしていました。

委員会活動は関西から見ると、なんとなく遠い存在です。現実問題として委員会の会議に参加できませんしリアルに話し合う機会もないからです。

ただ、そのおかげで見えてくることもあります。私の場合は資格委員会に（名前だけ）所属していたことで、教え子の学生の視点にたって「広報・PR」と「PRプランナー資格」を見ることができました。その結果、若い世代との感覚のズレに気づくこともできました。

たとえば「広報・PR」の基本概念である「社会との信頼関係の構築」について講義すると、以前は「WinWinのコミュニケーションは必要ですね」とすぐ納得してくれたのですが、最近首をかしげる学生が多く、以下のような質問をぶつけてきます。

「企業はステークホルダーを選ばないのですか？ モンスタークレイマーなんてスルーした方が企業のためではありませんか？」

「なぜ英語ばかり使うのですか？ レピュテーションより評判の方がわかりやすいです。」

「センサーの役割はヤフーニュースやラインニュースがやってくれています。情報も信頼できるので、それを見ていたらいいですか？」

もちろんそれぞれ丁寧に説明をして基本理念の真意を納得させるのですが、一方で急激に変わる社会とともに「広報・PR」の伝え方も進化させる必要を痛感します。また、常に時代を把握してベストのノウハウを紡ぐ鋭い感覚こそが、時代をリードする印象を与え、若い世代の「PRプランナー」受験動機に繋がると思うのです。

業界の発展は若い世代の教育なくしては語れません。そんな未来を皆さんと一緒に考えていければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

広報PRアカデミー 2017

「3次試験対応講座(夏期)」の受講受付を開始

～6月8日から7月12日まで6回にわたり開講～

教育委員会

協会では、6月8日より「PRプランナー3次試験対応講座(夏期)」を、ベルサール六本木コンファレンスセンターにて開講します。

3次試験対応講座はPRプランナー3次試験の合格を目的に開講する試験対策講座です。講師にはPRプランナー試験を突破した資格取得者を中心として、試験対策に精通している広報・PR実務の専門家を起用します。

本講座の受講者は6回の講座を通じて、試験課題となるニュースリリース作成及び広報・PR計画の立案に関し合格に必要な知識やスキルを身に付けることができます。講座は、「ニュースリリースの作成」、マーケティング及びコーポレートの両分野の「広報・PR計画の立案作成」について、それぞれ2週にわたる講義と演習で構成されています。講義で学んだポイントを実習を通じて的確に習得できるため、専門的なスキルを問われる3次試験の合格に向けた最も効果的な受験対策となります。

また、本講座では、インターネット回線を利用することにより、場所を選ばず任意の時間に受講できるWeb受講サービスを提供いたします。本サービスにより、遠隔地に居住の方、仕事に追われご多忙な方でも、パソコンを利用して都合のよい時間に、また理解できるまで何度でも履修することができます。

本講座の受講は3次試験合格に向けた最短コース。PRSJ認定PRプランナー資格の取得をめざす皆様の受講をお待ちいたします。受講の詳細については、協会Webサイトをご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/prp/3rd_2017summer



■PRプランナー3次試験対応講座(夏期)の概要

日程	講座テーマ	講座概要	講師	受講料	申込締切
6月8日 (木)・ 6月14日 (水)	「ニュースリリースの作成」	ニュースリリースの作成に必要な知識、スキルを講義と演習で学ぶ	青田浩治氏 (株)電通パブリックリレーションズ	会場受講+Web受講 日本PR協会会員社員 32,400円 PRプランナー(准・補) 取得者 43,200円 一般 48,600円	会場受講+Web受講 6月6日(火)まで
6月21日 (水)・ 6月28日 (水)	「広報・PR企画の立案作成(マーケティング課題)」	マーケティング課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習により学ぶ	野村康史郎氏 (株)オスマピアー	Web受講 会員/PRプランナー/ 一般とも 32,400円	Web受講は開講後も受け付めます(7月12日まで)。
7月5日 (水)・ 7月12日 (水)	「広報・PR企画の立案作成(コーポレート課題)」	コーポレート課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習により学ぶ	高野祐樹氏 (株)井之上パブリックリレーションズ		

※「日本PR協会会員社員」の料金は、法人正会員の会社・団体等の社員・職員、もしくは個人正会員・個人賛助会員ご本人様のみが対象となります。

第 21 回「PRプランナー資格認定検定試験」 1 次試験受験予約申込は 6 月 1 日（木）から！ 東京・大阪・名古屋・札幌で実施！

資格委員会

第 21 回 P R プランナー資格認定検定試験 1 次試験（実施：8 月 20 日（日））は、東京・大阪・名古屋・札幌の 4 会場で実施します。

日本 P R 協会が認定する「P R プランナー資格認定制度」は、広報・P R の業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は 1 次から 3 次にわたり、さらに書類審査を経て、広報・P R に関する高い専門能力の保有を認定する「P R プランナー」資格を取得することができます。本制度は 2007 年より発足しすでに 19 回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した 2,020 名の P R プランナーが一般企業や P R 関連会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、6 月 1 日（木）から 7 月 14 日（金）までとなりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

P R プランナー資格認定検定試験／1 次試験 実施概要

試験会場	東京会場	大阪会場	名古屋会場	札幌会場
試験日	2017 年 8 月 20 日（日）			
募集定員	400 名	80 名	80 名	80 名※
受験応募・申込方法	資格制度 W e b サイトで受験予約を行った上、申込書を郵送			
受験予約期間	2017 年 6 月 1 日（木）～2016 年 7 月 14 日（金）			
申込書送付期間	2017 年 6 月 2 日（金）～2016 年 7 月 20 日（木）消印有効			
受験票送付	2017 年 8 月 4 日（金）			
可否通知送付	2017 年 9 月 1 日（金）※郵送により通知			

・実施会場は変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

※最少実施人数があります。最少実施人数に満たない場合は、受験料のご返金、もしくは東京・大阪・名古屋のいずれかの会場に変更となりますので、予めご了承ください。

今後の試験実施スケジュール（予定）

○2 次試験（会場：東京・大阪・名古屋）

受験予約期間：2017 年 9 月 4 日（月）～9 月 22 日（金）

受験申込書送付期間：2017 年 9 月 5 日（火）～9 月 28 日（木）消印有効

受験票送付：2017 年 10 月 20 日（金）

試験日：2017 年 11 月 12 日（日）

可否通知日：2017 年 11 月 24 日（金）※郵送により通知

○3 次試験（会場：東京のみ）

受験予約期間：2017 年 11 月 27 日（月）～12 月 25 日（金）

受験申込書送付期間：2017 年 11 月 28 日（火）～12 月 28 日（木）消印有効

受験票送付：2018 年 1 月 12 日（金）

試験日：2018 年 1 月 20 日（土）可否通知日：2018 年 2 月 9 日（金）※郵送により通知

広報PRアカデミー2017

「広報・PRスタートアップ講座 2017」に 70 名が参加 新任実務者が広報・PRの基本を学んだ 3 日間

教育委員会

さる4月11日～13日の3日間、異動や入社により広報・PRに初めて携わる新任実務者を対象とする「広報・PRスタートアップ講座」を東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」で開講いたしました。

2017年度広報PRアカデミーの皮切りとなる「広報・PRスタートアップ講座」は、新任実務者を主な対象として、広報・PR業務の遂行に求められる考え方や知識、すぐに活用できる実務スキルの習得を目的とした3日間の研修講座です。講師陣には広報・PR実務の専門家、企業広報マネージャー、弁護士を迎え、それぞれの専門的な知見を生かした指導が行われました。



9つの講義、2つの実務トレーニングで構成された3日間にわたるプログラムでは、パブリックリレーションズ、企業広報、マーケティング広報、クライシス・コミュニケーションなどの基本概念、マスメディアやソーシャルメディアの活用、最も基礎的な広報実務であるニュースリリースの作成やメディアリレーションズの実習が行われ、広報・PRの多彩な領域に関する研修が進められました。

講座初日は事業会社の広報・PR部門、PR会社、各種団体等から70名が受講、2日目、3日目も60名を超える受講者が参加し、3日間にわたり広報・PR業務に関する基本を学びました。雨に見舞われた初日は硬い表情で講座に望んでいた受講者も、春らしい晴天となった2日目にはいっそう交流を深め、和やかに情報交換を行う姿がみられました。熱気に満ちた3日間の研修を終え、広報・PRの現場に戻った受講者には、それぞれの立場での活躍が期待されます。



「PRプランナー資格認定制度」

95名の2016年度後期(第19回)PRプランナー誕生 PRプランナーは2,200名!

資格委員会

今年1月に実施された第19回PRプランナー資格認定検定試験/3次試験の合格者100名のうち95名が、3月に行われた書類審査を経て、PRプランナーの資格を取得されました。

ここに、長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表してご氏名を公表させていただきますとともに、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

2016年度後期(第19回) PRSJ 認定PRプランナー

(50音順/敬称略)

◇個人名、所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

秋谷 寿彦 (株博報堂アイ・スタジオ)	穴沢 秀朗 (株電通)
石尾 怜子 (スターフェスティバル(株))	石原 嘉人 (朝日新聞社)
今村 友維子 (株西日本メンテナンス)	大塚 恭久
小澤 知子 (八重洲地下街(株))	柿本 達郎 (株クーバー・コーチング・ジャパン)
蒲 亮一 (株電通アドギア)	川上 辰夫 (株地域新聞社)
川邊 真奈美 (サンスター(株))	衣川 恵 (資生堂ジャパン(株))
黒田 毅 ((株)フィード)	小林 司 (オリンパス(株))
佐賀 晶子 ((株)アイリッジ)	笹山 真琴 (パシフィックコミュニケーションズ(株))
里見 良 (三菱UFJニコス(株))	白石 聡美 (株オズマピーアール)
白澤 克哉 (株トータルオフィスパートナー)	菅原 隆史 (キューピー(株))
杉野 遥 (Matou)	関口 敏之 (株井之上パブリックリレーションズ)
関根 勇人 (株新潟博報堂)	曾我 亨和 (株ビオス)
高田 美恵 (アララ(株))	田中 知子 (株カカクコム)
田中 瑠津子 (Weber Shandwick)	寺内 理恵 (森永製菓(株))
野田 詩織 (テックファームホールディングス(株))	箱山 玲 (株)産業経済新聞社)
濱 純子 (日本ホテル(株) 東京ステーションホテル)	平瀬 由紀 (株デルフィス)
平塚 正之 (株文化工房)	堀口 友恵 (株大京)
松下 智帆 (株PR TIMES)	松本 卓 (小倉記念病院)
松本 尚美 (office "PLAN B")	三上 さつき (株パロックジャパンリミテッド)
水野 雪	宮田 正一 (電通サドラー・アンド・ヘネシー(株))
村上 佳高 (グローリー(株))	森 大祐 (ジェイアール東日本フードビジネス(株))
森 康智 (タキヒヨー(株))	弓野 千恵 (株ロック・フィールド)

◇個人名、所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

足立 尊史 (一般企業(広報・PR関連部署))	一坂 理絵 (一般企業(広報・PR関連部署))
小野 陽子 (一般企業(その他の部署))	小林 亜由子 (一般企業(広報・PR関連部署))

島田 京代 (PR関連会社)	瀧澤 由美子 (一般企業(広報・PR関連部署))
谷口 佑貴也 (一般企業(広報・PR関連部署))	塚田 真一郎 (各種団体)
苗村 一 (一般企業(広報・PR関連部署))	中村 友信 (一般企業(広報・PR関連部署))
長谷川 芳子 (一般企業(広報・PR関連部署))	町田 一 (PR関連会社)
水野 慎也 (その他)	三井 郁恵 (一般企業(その他の部署))
森山 真紀 (一般企業(広報・PR関連部署))	吉田 善紀 (一般企業(その他の部署))
渡邊 麻里 (一般企業(広報・PR関連部署))	

◇所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

㈱アドバンテスト	…女性1名	共同ピーアール㈱	…女性1名
クレアブ㈱	…女性1名	コカ・コーラウエスト㈱	…男性1名
㈱コーセー	…男性1名	㈱資生堂	…女性1名
㈱電通パブリックリレーションズ	…男性1名	㈱リアライズ	…女性1名

◇所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

PR関連会社	…男性1名、女性2名
一般企業(広報・PR関連部署)	…男性3名、女性3名
自治体・行政機関	…男性1名

※上記PRプランナーの皆様には、事前に掲載の承諾を得ております。

会 員 限 定

第 45 回親睦ゴルフ会 開催

桜満開の中、優勝は (株)内外切抜通信社 近藤義昭氏

PR 業 部 会

4月6日、PR業部会初開催となる親睦ゴルフ会が、嵐山カントリークラブ（6,811y Par72）で開催し、15名が参加されました。

親睦ゴルフ会は、会員相互の交流親睦を図る行事として毎年春と秋に開催しています。

これまでは、国際・交流委員会が主幹隣開催しておりましたが、今回からPR業部会が主幹となりました。

当日は、少しでも触れただけで2～3m転がってしまうミラーグリーンと、午後から強くなってきた風の影響を受け、各参加者は苦戦を強いられましたが、春の空気漂う満開の桜を満喫してのプレーとなりました。

PRプランナーに必要なこと？

株式会社オズマピーアール
鈴木元康

はじめまして、株式会社オズマピーアールの鈴木元康と申します。この4月から、まったく予想もしないことでしたが、18年間続けてきたPRの営業現場を退き、管理部門を預かることになりましたが、PRプランナーとして、これまで感じてきたことと、PRプランナー資格を取得した頃のことを、少しお話させていただきたいと思います。

私がPRプランナーとして働き始めたのは、大学在学中から卒業後も続けていた、カメラマンアシスタントから、転職をした25歳の時でした。全く、PRも、PR業界のことも知らずに、何となくマスコミ関係？と思って、業界の扉を叩いたことを今でも覚えています。

そして、最初に入った前職のPR会社で、とても良い先輩、仲間に恵まれ、段々とPRの仕事が好きになり、広告代理店から依頼されるPRの仕事、特にマーケティングPRの仕事を中心に、毎日忙しく働いていました。

その後、PRプランナー資格制度ができ、すでに3年以上の実務経験が合ったため、まわりの先輩たちが受験するのに促され、2007年度の第1期の資格試験を一緒に受験しました。

今の新卒の学生や、中途採用でPR業界を志望する皆さんのように、業界研究をして、PRに熱意を持って業界に入ってわけではないので、PRの現場対応力、メディア対応力などは、しっかりと備わっていましたが、いわゆるPRに関する基礎知識や、自分が担当してきたマーコム以外の領域の知識などは、ゼロベースもいいところでした。そのため、受験のために初めて読んだPR関連の書籍などを通して、一般的なPRに関する知識を勉強しました。その甲斐あってか、無事、1期のPRプランナー試験に合格できました。

その数年後、縁があり、現在のオズマピーアールに入社し、すでに8年目を迎えました。オズマピーアールに入ってから、今までのように広告代理店からご相談いただくマーコムはもちろん、直接のクライアント様からのリテナーやコンサルに近いご相談も多く、幅広い領域のPR経験・知識を吸収してきました。なので、どちらかと言うと、どこかのPR領域に特化することなく、でも広く、深くという意識を持って、PRのゼネラリストとして、様々な領域にまたがって仕事を担当させていただいています。

これまで、PRプランナーとして、18年、様々な業務を担当させていただく中で、自身で一番大事だなと思うことは、様々なことに興味を持てること、そして、様々なことに共感できるバランス感覚を持つことかな？と個人的には思います。クライアントと同じようにクライアントのことを知り、メディアと同じようなメディア感覚を持ち、オピニオンの考えをしっかりと理解し、PRのプロだけど、生活者の感覚を決して忘れずにいること。

その上で、何をどう理解し、どう伝えたら、クライアントにも、オピニオンにも、メディアにも、生活者にも、共感してもらえるのか？、それぞれに良いバランスをうまく捉え、その調整役ができるのは、PRプランナーの醍醐味なのではないかと思います。

今後、学生や新たにPR業界を目指す方は、これまで以上に増えると思います。PRプランナー資格を取得する過程で、ベースとなるPRの知識は身につけることはできるので、取得後は、資格に満足せず、自身のアンテナを様々に張り巡らし、PRプランナーとしてさらなる成長をしてほしいと思います。

私自身も、1期生として、毎年生まれる新たなPRプランナーの皆さんに負けないう、いつまた営業現場に戻されるかもわからないので、常にアンテナを張り、バランス感覚だけは錆びつかないように頑張りたいと思います。

<コラム関西の風>

知の実験劇場「ACADEMIC THEATER」 ついに開幕！

学校法人 近畿大学
総務部広報室 室長
加藤 公代

2017年4月6日、近畿大学の新エリア「ACADEMIC THEATER」（アカデミックシアター）がオープンしました。総工費500億円を投じた「超近大プロジェクト」の一環で、2014年の竣工から2年半、ようやく完成の運びとなりました。

「ACADEMIC THEATER」は5つの建物から構成された文理融合型実学教育拠点です。

具体的には

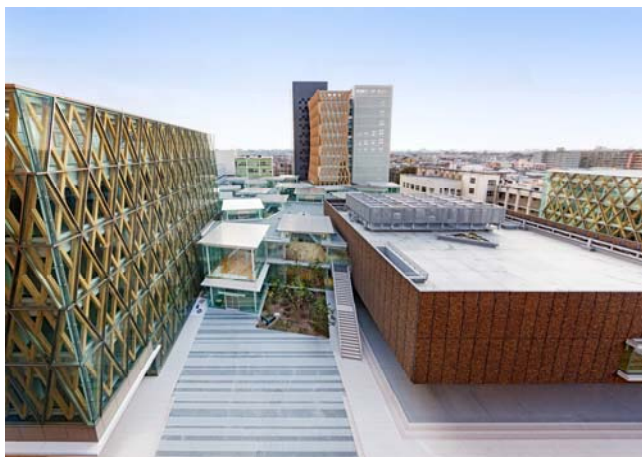
- ・留学、国際交流、外国語教育を一体的に行うインターナショナルフィールド
- ・就職を支援するキャリアセンター、産学連携を推進するリエゾンセンター、卒業生の窓口である校友課、自治体との連携に取り組む社会連携推進センターの機能をひとつのフロアに集約したオープンキャリアフィールド
- ・女性専用室を完備した24時間利用可能な自習室を備えたナレッジフィールド
- ・世界のニュースにリアルタイムに触れられる学習型カフェ「CNN Café」を有するアメニティフィールド——で構成。

そして中核施設となる「BIBLIOTHEATER」（ビブリオシアター）は、編集工学研究所所長の松岡正剛氏に監修を依頼した独自の図書分類による新図書館です。約7万冊の書籍を所蔵し、うち2万2千冊はマンガというとてもユニークなものです。ネット上では「近大にマンガ喫茶誕生 学生が墮落する」などと批判されることもあり、真実が伝わっていない部分もありますのでここで詳しく紹介します。

この図書館は1階が「NOAH33（ノア33）」と名付けられた33のテーマからなる一般図書中心のスペース、2階が「DONDEN（ドンデン）」の名称で、マンガ、新書、文庫が並んでいます。

1階の「NOAH33」はNew Order of Academic Home という意味で、新旧硬軟織り交ぜた文理を越えた本との出会いができる場です。

2階の「DONDEN」。2万冊以上のマンガがありますが、何も学生に「マンガを楽しみましょう」と言っているのではなく、活字離れ、読書離れが進む世代にマンガからでも紙に触れ、文字に触れ、そこからその隣にある新書、文庫へと手を伸ばすことができるようなストーリーが組み込まれています。





例えば、大和和紀作の名作歴史マンガ「あさきゆめみし」の隣に田辺聖子著「新源氏物語」の文庫があり、さらには小池清治著「源氏物語と枕草子」の新書があると言える分りやすいでしょうか。また、書棚にはそれぞれ「大見出し」が付いているのですが、この書棚は「文学をマンガする」。他にも職業や就活についての書棚の大見出しは「近大生のためのハローワーク」で、日本の中間管理職をリアルに描いた弘兼憲史作「課長島耕作」シリーズが並び、酒井穰著「ビジネスでいちばん大事な心理学の教養」などのビ

ジネス書が並んで置かれています。

このように、マンガから文庫、新書へ知識の海を泳いで渡るように工夫されています。

フロアの名前が「DONDEN」なのは、知と遊びの枝葉を広げ、世の中の既成概念をひっくり返すようなひらめきや発見に向かう場所、という意味があります。いわば「知のドンデン返し」が起こる場所なのです。そこはまるで、これまで数々の大学における「固定概念」をぶっ壊してきた、近畿大学の心意気とリンクするスペースのように感じています。



松岡氏の言葉を借りれば「本を読むということは、本に託された可能性と出会って、想像力の翼を広げていくことを意味する」とのこと。オープンから数週間が経ちましたが、連日2階のみならず、1階も多くの学生が集っています。学生それぞれが想像力の翼を広げ、悠久の船に乗ってきた英知と出会っているように、誰もがうれしそうに、また真剣に、そして楽しそうにこのシアターを活用しています。

「アカデミックシアター」とは「知の実験劇場」という意味もあります。未来を輝かせる壮大な実験ドラマは今、幕を開けたばかりです。見学は随時受け付けていますので、皆さまもぜひ一度お立ち寄りください。

ちなみに、あまり読書家ではない私。マンガも最近読んでなかったのですが、小学生時代から全巻を制覇していた長編少女マンガ美内すずえ作「ガラスの仮面」があることを知り、いつかまた一巻から読み返してやろうと、仕事を終えた帰り道にDONDENをのぞく毎日です(笑)。

■ 会員便り

当協会個人正会員Bの北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
研究員／日本広報学会 常任理事の宮部潤一郎氏から「Asia-Pacific
Communication Monitor 2017(アジア太平洋コミュニケーション調査)」の
ご案内をいただきましたので、会員各位にお知らせいたします

2015年に第1回を実施しましたアジア太平洋コミュニケーション調査（APCM）の第2回調査が実施されます。前回の調査では23カ国・地域から1,200名を超す広報実務家の参加を得ることが出来、かつてない拡がりを持つ広報業務に関する調査となりました。

第2回となる今回の調査では、広報・戦略コミュニケーションに関する現状と今後の重要課題、効果の計測、ソーシャルメディア対応などについて把握し、その結果は国際比較の観点から分析されます。したがって、できるだけ多くの日本の広報関係の方に参加いただくことによって、偏りのない我が国の広報の姿を調査結果に投影できることとなります。世界的な比較の中で我々の広報・コミュニケーション活動がどのように位置付けられるのかを見ることによって、その中から多くの有益な示唆が得られます。

この調査は、欧州とアジアの広報・コミュニケーション研究者から成る国際研究チームが、インターネット・アンケート調査として実施します。同様の調査は、欧州と中南米各国で実施され、グローバルで80カ国をカバーする調査となっています。

調査は2017年5月16日～6月25日の間にインターネット上で実施されます。質問は全て英語ですが、分かりやすい英語で書かれ、回答は選択肢の中から選択をするだけの操作で、10分程度で完了するものです。

ご参加にあたっては、アクセスいただき、設問にご回答いただきたくお願い申し上げます（5月16日からサイトオープン）。申すまでもないことですが、この調査は研究目的で実施され、結果は統計的に処理分析され個別のご回答が開示されることは一切ありません。

<http://www.communicationmonitor.asia>

多くの方々のご参加をお願いいたします。なお、この調査は企業を対象とした調査ではなく、広報実務家個人を対象とした調査です。お知り合い、同僚の方々にお声掛け頂ければ幸甚です。ご質問等があれば、宮部までお願いいたします。

（メール：j-miyabe@imc.hokudai.ac.jp）。

<ご参考>

European Communication Monitor web サイト：<http://www.communicationmonitor.eu/>

Asia-Pacific Communication Monitor web サイト：<http://www.communicationmonitor.asia>

（5月16日からサイトオープン）

当協会個人正会員Bの山見インテグレーター(株) 山見 博康氏が 「ニュースリリース大全集」を3月30日に発刊

個人正会員Bである山見インテグレーター(株) 代表取締役 山見 博康氏が3月30日に19冊目となる著作「ニュースリリース大全集」を発刊しました。

全産業をほぼ網羅する大小企業に加え、主要県・市や学校・諸団体計210から提供されたニュースリリースは計700！本書はその中から各1本選ばれた210を用途別に分類、辞典的活用可能な700ページ近くの書籍です。著者による「Yes2、But1」での推奨コメント3ポイント付の多様多彩な分野のニュースリリースを見て、異なった観点から学べます。また、50のメディア幹部の要望とアドバイスから直接示唆を得ることができます。

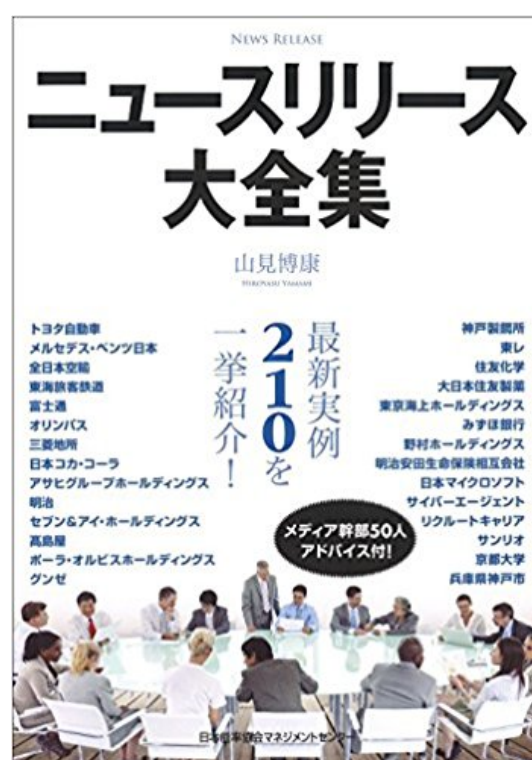
NRを作成し始める広報新人や更なる向上を図りたい経験者、広報・広告、メディアに関心のある一般ビジネスパーソンや広報・広告、メディアに関心のある学生などに読んでいただきたい1冊です。

<書籍データ>

『ニュースリリース大全集』

この1冊で多様多彩なニュースリリースが学べる！

著者：山見 博康
出版社：日本能率協会マネジメントセンター
発行年月：2017年3月30日
形式：並製、A5判672ページ
価格：3,800円（税別）



※この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

山見インテグレーター(株) 山見 博康

TEL：090-3206-8335 Email：yamami@yico.co.jp

PR SJ in Media

● 4月1日（土） 『月刊広報会議』5月号

『月刊広報会議』5月号における当協会の連載コラムで、企業部会が主催する広報ゼミの内容が掲載されています。コラムでは第24回広報ゼミにおいて、国際大学グローバル・コミュニケーション・センターの山口真一氏を招いて行われた講演とワークショップに触れ、ネットにおける炎上の対象となりやすい企業の特徴や炎上に加担する人々の実態、さらに企業にとっての炎上のデメリットや社会的な好影響などについて紹介されています。

● 4月1日（土） 『月刊広報会議』5月号

『月刊広報会議』5月号における特別企画「PR業界をリードするプレイヤーに聞く 未来予測とキーワード」において、当協会の近見竹彦理事長の投稿記事が掲載されました。記事では、PRパーソンや企業にとって、ジャーナリストに寄り添う姿勢としての「エスコート・マインド」の重要性が語られ、コミュニケーション・インテリジェンスが企業経営において重要性を高めていることが指摘されています。

編集担当から

会員みなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載